HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	1. 北海道大学所蔵・利尻島収集資料について
Author(s)	中沢, 祐一
Relation	北海道大学所蔵利尻島収集考古資料 = An Illustrated Catalogue of the Prehistoric Artifacts from the Rishiri Island, Hokkaido, Japan / 中沢祐一, 富塚龍編集 ; 中沢祐一執筆
Issue Date	2017-03-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/65137
Type	book part
File Information	04ArtifactsRishiri_1-4.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

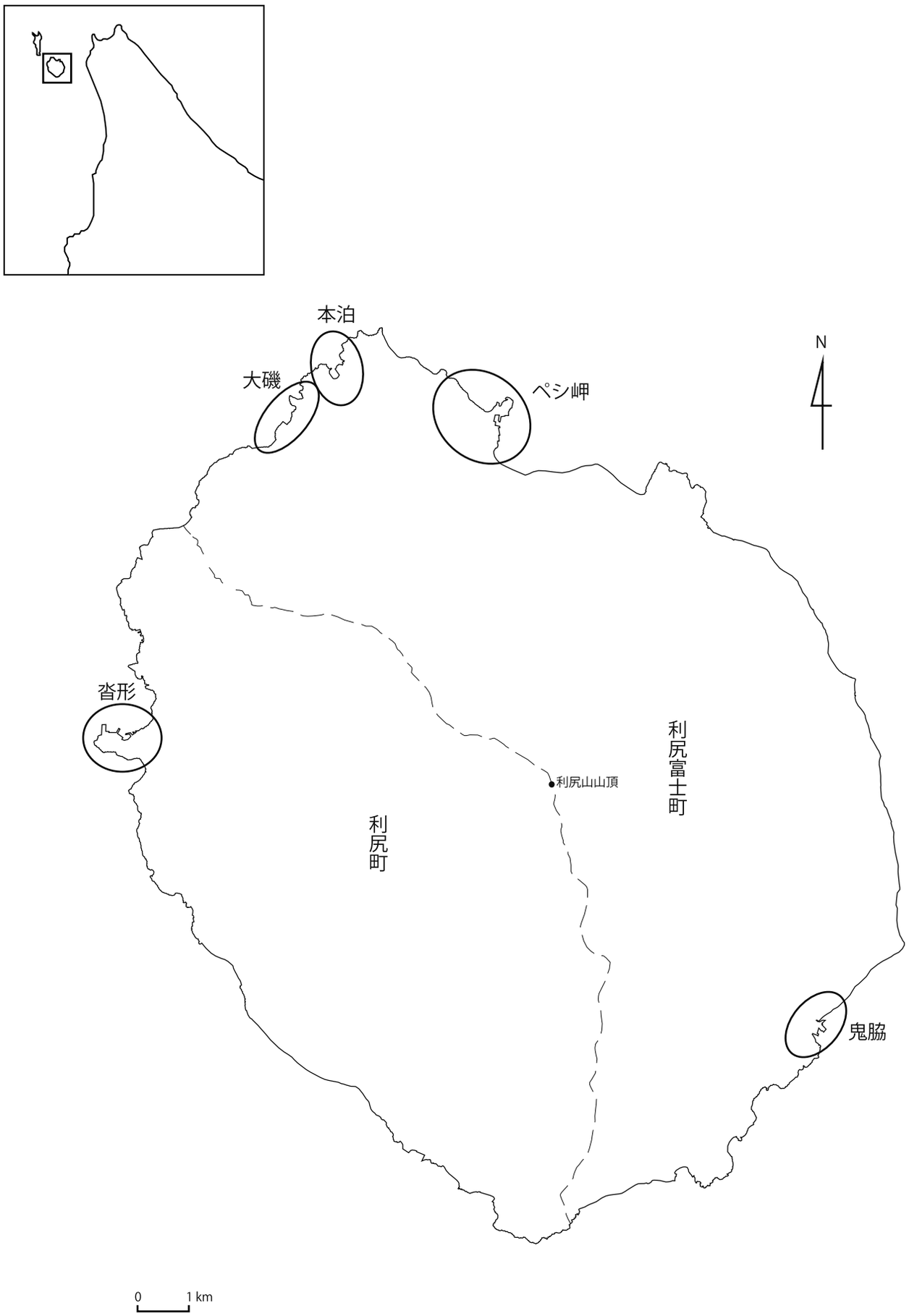
１．北海道大学所蔵・利尻島収集資料について

（１） 概要

北海道大学が所蔵する利尻島の先史考古学資料は、児玉作左衛門博士（当時、北海道大学医学部教授）に対して寄贈された土器や石器などの考古遺物である。これらは児玉博士が利尻島を訪れた記録（西谷 2000：133 頁）や、資料に付随する封筒やメモ用紙（「ラベル」と呼称）から判断する限り、1949 年（昭和 24 年）頃に寄贈された資料であると推測される。資料の寄贈者や寄贈日などについてはラベルに記載された断片的な情報によってある程度うかがうことができるが、資料の収集経緯や資料が得られた遺跡名などを示す正式な記録類（調査日誌・写真・図面など）は残されていない。このことから、個別の掲載資料を今日の利尻島で確認されている遺跡と正確に関連付けることは困難である。一方でラベルからは、資料が由来する利尻島内の地域がおおよそ判別可能である。これらは「本泊」、「ペシ岬」、「大磯」、「鬼脇」、「沓形」であり、現在の利尻富士町および利尻町の地区名と共通する（第１図）。この点を鑑み、本書では資料を地区ごとに分けて報告する。それぞれの地区には埋蔵文化財包蔵地などに登録された遺跡が含まれる（第１表）。

また本書に掲載する利尻島の資料の中には、大場利夫博士（当時、北海道大学北方文化研究施設考古学部門教授）によって『北方文化研究』第３号に報告された資料（大場 1968：25 頁[第 16 図]）が含まれている。

本書を参照することによって、本書に掲載した資料の考古学的な特徴を利尻島の諸遺跡から出土した資料と比較することができる。利尻島では 1970 年時点おいてすでに土地開発による遺跡破壊が進行しており（菅 1970）、本書掲載の資料の中には、消失してしまった遺跡から得られた資料が含まれている可能性もある。本書の刊行によって利尻島と北海道の先史時代に関する理解と評価が深まることが期待される。



第１図　利尻島の地区

（国土地理院５万分の１地形図を元に作成）

第１表　地域名と遺跡の対応

地区名	行政区	埋蔵文化財登録されている遺跡
本泊	利尻富士町	本泊遺跡、本泊小学校遺跡
ペシ岬	利尻富士町	ペシ岬遺跡、ペシ岬燈台遺跡、鴛泊港遺跡、利尻富士町役場遺跡、栄町遺跡、栄町キャンプ場遺跡、港町１遺跡、港町２遺跡、利尻神社下遺跡
大磯	利尻富士町	大磯１遺跡、大磯２遺跡
鬼脇	利尻富士町	鬼脇遺跡
沓形	利尻町	亦稚貝塚、日の出遺跡、沓形洞窟遺跡

参考文献：岡田ほか（1984）、西谷（1998、2000）、山谷（2012）

（２） 遺物 ID について

個別の遺物には資料登録のための ID をつけている。遺物 ID は６種類の情報からなる。それぞれの情報ごとにコード化し、組み合わせている。第２表に ID を構成する６種類の情報の詳細を示す。利尻島収集資料の遺物 ID コードの組み合わせは、第３表に示す。

第２表　遺物 ID の種類

地域	資料が由来する遺跡が位置する市町村名
地区	資料が由来する地区。市町村の中に含まれる
遺跡	資料が由来する遺跡の名称。地区の中に含まれる
地点	資料が得られた遺跡の中の地点。遺跡の中に複数の地点がある場合
コンテクスト	資料がどのような経緯で収集されたかを示す
遺物の通し番号	上記５種類の情報の下に含まれる遺物の番号

第３表　利尻島収集資料の遺物 ID のコード

地域	地域コード	地区	地区コード	遺跡	遺跡コード	地点	地点コード	コンテクスト	コンテクストコード
利尻富士町	1401	本泊	1	不明	99	不明	99	寄贈	3
		ペシ岬	2						
		大磯	3						
		鬼脇	5						
		不明	99					不明	9
利尻町	1402	沓形	4						
		不明	99						
利尻島（市町村名不明）	1403	不明	99						

参考文献

大場利夫　1968　「北海道周辺地域に見られるオホーツク文化―II　礼文島・利尻島―」『北方文化研究』第３号、1－43 頁.

大場利夫・大井晴男編　1976　『香深井遺跡　上』、東京大学出版会.

岡田淳子・宮塚義人・椙田光明・西谷栄治・椙田美枝子・塩野崎直子　1984　「利尻島の埋蔵文化財（２）『利尻町立博物館年報』第３集、9－50 頁.

菅　正敏　1970　「宗谷地方の先史文化ノート（２）―利尻島の遺跡―」『北海道考古学』第６号、113－118 頁.

西谷榮治　1998　「利尻島の先史文化」『利尻富士町史』、利尻富士町史編纂委員会編、311－333 頁.

西谷榮治　2000　「第一章　先史時代」『利尻町史通史編』、利尻町史編纂委員会編、131－152 頁.

藤本　強　1966　「オホーツク土器について」『考古学雑誌』51 巻４号、525－268 頁.

利尻富士町教育委員会　2011　『利尻富士町役場遺跡発掘調査報告書 II』、利尻富士町.

山谷文人　2012　「港町１遺跡の調査」『利尻研究』31 号、39－53 頁.